

2009 年度第1四半期決算説明会 質疑応答

Q 2009 年度の連結営業利益見通しは 47 億円ですが、第1四半期ですでに 27.9 億円を計上されています。この利益水準で進むと、47 億円を上回るように考えられますが、第2四半期以降利益を押し下げる原因があるのですか？

A 前期は 4 年に一度のサッカーイベント「UEFA EURO 2008™ サッカー欧州選手権」等、ビッグイベントが上期に集中したため番組費などが上期偏重となりました。しかし、当期は第2四半期以降、特に下期の自社制作番組のさらなる強化及び、10 月 10 日に開催のオリジナルイベント「WOW FES！」等があるため、例年通り番組費などは下期偏重の費用投下となり、現時点では計画通りに進行しています。

Q 「WOW FES！」は相当コストがかかるのですか？

A ボクシングの「エキサイトマッチスペシャル ダブル世界タイトルマッチ」、10 数組のアーティストによるライブなど、視聴者に喜んでいただける、楽しんでいただける、驚いていただけるようなイベントを展開しようと考えていますので、相応のコストを見込んでいます。

Q 広告宣伝費が前年同期に比べ減少している理由は？

A 前年同期は「UEFA EURO 2008™ サッカー欧州選手権」などのビッグイベントの訴求に広告宣伝費を投下したためです。

Q

「スタート割」、「デジタル移行特典」の制度化による、加入件数、利益面での影響は？また、2011 年でのアナログ加入者の残存数の見込みは？

A

今般の新料金体系は、5 月 15 日に公表しました 2009 年度事業計画に織り込んでいるため、今期の加入件数及び収支に与える影響はありません。

「スタート割」「デジタル移行特典」などの施策は、デジタルの新規加入やデジタル移行の一層の促進につながると判断し制度化にいたしました。

今後これらの施策を推進し、2011 年の段階では、すべてのお客様がデジタルに移行されているように、取り組んでいきます。

Q

すでに 2009 年度の連結営業利益見通し(47 億円)が、2009-2011 年度中期経営計画(以下、中期計画)の最終年度である 2011 年度の連結営業利益(37 億円)を超えています。中期計画の修正などは考えていますか？

A

2011 年 10 月以降に開始予定の新 BS デジタル放送について、申請通りハイビジョン 2 チャンネル追加の認定をいただきました。現在、ハイビジョン 3 チャンネル体制でのサービスに向け、準備を進めています。また、その他外部環境などを検証しており、必要であれば見直しを検討しますが、現時点では、中期計画の変更は考えておりません。

Q

中期計画を修正しないということであれば、現状の利益水準から考えると、2011 年度では相当の費用投下を見込まれているのですか？

A

ハイビジョン 3 チャンネル体制でのサービススタート及び、新 BS デジタル放送全体を成功させるためには、より一層の番組制作や広告宣伝などのコストを投下する必要性を感じています。

ただし、例えば番組費については単体売上高に占める一定の割合をキャップとしているなど、売上高に応じた相応の利益は維持していきたいと考えております。

Q

ハイビジョン 3 チャンネルでの価格面での施策は？

1チャンネルごとの販売など、バリエーションは検討されていますか？

A

ハイビジョン 3 チャンネルサービスを実現しても価格は現行と同額の 2,415 円(税込み)でサービスすることを考えています。現時点では 1チャンネルごとの販売などは考えていません。

Q

2011 年以降の新 BS デジタル放送がスタートするにあたり、BS-FOX が参入することで、FOX 社からの番組調達に影響はありますか？

A

現時点では影響はないと考えています。

Q

2011 年以降の新 BS デジタル放送の配列図で、今回割り当てがなかった帯域について、新たなチャンネルが割り当てられた場合、中期計画に影響はありますか？

A

募集がどのような形で行われるか分からないので、影響があるかどうか、分かりません。

以上